

日本土壌肥料学会 2021 年度北海道大会のお知らせ

(第 2 回)

2021 年度北海道大会運営委員会

お
知
ら
せ

参加登録ならびに演題登録につきましてご案内いたします。以下のご案内をよくお読みの上、お早めに手続きくださいますようお願いいたします。

=====**重要なお知らせ**=====

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、2021 年度北海道大会は以下のようなハイブリッド形式での実施を計画しております。

一般講演（口頭発表）、シンポジウム、学会賞等授賞式、記念講演等
従来どおりの対面式での現地開催を予定しております。

シンポジウム、学会賞等授賞式、記念講演等はオンライン配信も予定しております。

一般講演（ポスター発表）

2020 年度岡山大会でも使用した LINC Biz によるオンライン発表のみとします。

懇親会

2021 年度北海道大会では懇親会は実施いたしません。

なおこちらは 2021 年 1 月現在の情報ならびに社会情勢による判断となり、今後の感染状況によっては変更となることもございますことをご承知おきください。

最新の情報は北海道大会ホームページ (<https://www.jssspn.org/2021/>) に随時掲載します。

【各種受付期間】

研究発表申込（参加申込含）	2021 年 2 月 18 日（木）～2021 年 4 月 23 日（金）
講演要旨提出	2021 年 2 月 18 日（木）～2021 年 5 月 28 日（金）
参加のみの登録（事前登録）	2021 年 2 月 18 日（木）～2021 年 7 月 30 日（金）
参加費等支払期間	2021 年 2 月 18 日（木）～2021 年 8 月 10 日（火）

1. 大会日程および会場

- | | |
|------------------|--|
| 1) 一般講演 | 2021 年 9 月 14 日（火）～16 日（木）
北海道大学 高等教育推進機構 |
| 2) シンポジウム | 大会期間中に開催
北海道大学 高等教育推進機構 |
| 3) 学会賞等授賞式・記念講演等 | 2021 年 9 月 15 日（水）
北海道大学 高等教育推進機構 |
| 4) 懇親会 | 懇親会は実施いたしません |

2. 大会参加登録

北海道大会ホームページ (<https://www.jssspn.org/2021/>) より、お手続きください。インターネットでの登録が困難な場合は大会運営準備室(株式会社 MONS TEL 011-824-8805 に委託しています)へご相談ください。

大会期間中の当日登録も承りますが、当日のスムーズな運営のため、できる限り事前に登録くださいますようお願いいたします。

	事前登録	当日登録	備考
大会参加登録費 正会員	7,000 円	8,000 円	講演要旨集 (PDF) を含む。
大会参加登録費 学生会員	3,000 円	4,000 円	講演要旨集 (PDF) を含む。
大会参加登録費 非会員	8,000 円	9,000 円	講演要旨集 (PDF) を含む。
研究発表費	1,000 円	-	発表者がお支払ください。

- ※ **講演要旨集の冊子体は製作しません。**講演要旨集は従来どおりの様式で製作した PDF を大会ホームページに掲載します。
- ※ 研究発表申込は、大会参加登録費および研究発表費の支払をもって完了します（締切 8 月 10 日（火））。「8. 支払について」の項目をお読みになり手続をお進めください。
- ※ 会員（正会員および学生会員）の大会参加登録費、研究発表費は、消費税の課税対象といたしません（不課税）。非会員の大会参加登録費は、消費税の課税対象となります。

3. 研究発表申込ならびに講演要旨の提出

1) 研究発表費

研究発表 1 題につき 1,000 円（正会員・学生会員とも）の支払が必要です。ただし、9-1、9-2 部会については他部会と重複して発表でき、その際の研究発表費は 2 題でも 1,000 円です。

2) 受付期間

研究発表申込： 2021 年 2 月 18 日（木）～2021 年 4 月 23 日（金）

講演要旨提出： 2021 年 2 月 18 日（木）～2021 年 5 月 28 日（金）

3) 申込方法

北海道大会ホームページ (<https://www.jssspn.org/2021/>) より、お手続きください。

4) 発表資格

研究発表申込時に日本土壌肥料学会正会員あるいは学生会員であることが必要です。大会で発表するためには、2021 年度会費が納入されていることが必要となりますのでご注意ください。2021 年度から入会される方は、2021 年 3 月 31 日（水）までに入会手続きをおとりください。

日本土壌肥料学会への入会手続きについては、学会ホームページ

(<http://jssspn.jp/guide/index.html>) をご覧ください。

ご不明な点は、日本土壌肥料学会事務局へお問い合わせください。

TEL: 03-3815-2085 FAX: 03-3815-6018 E-mail: sfpoffice@jssspn.jp

5) 発表数

下記一覧より発表を希望する部会の番号をお選びください。一般講演は 1 人 1 題です。ただし、9-1、9-2 部会については他部会と重複して発表できます。共同研究者として重複して発表に加わることはさしつかえありません。各部会の詳細は日本土壌肥料学会のホームページ (<http://jssspn.jp/about/meeting.html>) をご参照ください。

部門番号および部門名	番号	部会名	番号	部会名
1. 土壌物理	1-1	物質循環・動態		
2. 土壌化学・土壌鉱物	2-1	土壌有機・無機成分の構造・機能・ダイナミクス		
3. 土壌生物	3-1	土壌生物の生態と機能	3-2	土壌生物の応用と制御
4. 植物栄養	4-1	植物の多量栄養素	4-2	植物の微量栄養素
	4-3	植物の有害元素	4-4	植物の代謝成分と農作物の品質
5. 土壌生成・分類・調査	5-1	土壌生成・分類	5-2	土地分類利用・景域評価
6. 土壌肥沃度	6-1	水田土壌肥沃度	6-2	畑地土壌肥沃度
	6-3	園地・施設土壌肥沃度	6-4	草地土壌肥沃度

7. 肥料・土壌改良資材	7-1	肥料および施肥法	7-2	土壌改良資材
	7-3	緑化技術		
8. 環境	8-1	環境保全	8-2	地球環境
9. 社会・文化土壌学	9-1	社会・教育	9-2	文化土壌学

4. 研究発表の方法

本大会では口頭発表とポスター発表をおこないます。申込時に「口頭発表」か「ポスター発表」のいずれかを選択してください。

ポスター発表の場合はLINC Biz を用いたオンライン発表となります。

1) 口頭発表

a. PowerPoint ファイルの作成について

- ・ 運営委員会事務局で用意する PC は Windows10 (PowerPoint2016) です。この環境で正常に動作するよう発表ファイルを作成ください。Macintosh のフォーマットは対応できません。
- ・ フォントは OS 標準のみを用いてください。その他のフォントをご使用の場合は正常に映写できない場合があります。
- ・ PowerPoint で設定したアニメーション機能につきましては、バージョンが異なると動作を保証できません。極力ご利用をお控えください。
- ・ 動画ならびに音声データはご利用いただけません。
- ・ 持ち込みの PC を接続することはできません。

b. ファイル受付

- ・ 発表ファイルはウイルスチェックを済ませた USB フラッシュメモリでお持ちください。
- ・ 発表データの保存ファイル名は「講演番号 発表者名.pptx」(例: 3-2-1 北大花子.pptx) としてください。シンポジウムについては「シンポ番号_発表者名」(例: シンポ 1_北大花子.pptx) としてください。
- ・ 発表ファイルの受付は各講演会場にて、8:30 から発表直前の休憩時間までの講演発表がおこなわれていない時間帯といたします。発表者は USB を会場係にお渡しください。データ移行終了後に USB を発表者に返却いたします。2 日目以降の発表については前日、前々日にも受付をいたします。
- ・ 発表終了後のファイルについては、大会運営委員会が責任を持って PC から消去します。

c. 発表持ち時間

- ・ 発表形式は、PC プレゼンテーションのみとなります。他の機器はご使用いただけません。またご自身で持ち込みになった PC での発表もできません。
- ・ 発表持ち時間は講演 10 分・質疑 (交代を含む) 5 分の計 15 分です。時間厳守をお願いいたします。
- ・ ファイルの提出が所定時間内におこなわれなかった場合には、ファイル操作のための時間を発表持ち時間に含めますのでご承知おきください。
- ・ 発表の際は演台上の PC を、発表者または共同研究者で操作していただきます。

2) ポスター発表

- ・ LINC Biz を用いたオンライン発表をいただきます。
- ・ ポスター (発表データ) は発表用のファイル (jpeg 等の画像形式データ 5 枚以内) をご自身の発表チャンネルに投稿いただきます。投稿いただけるファイルは 1 点あたり 50MB までとします。ファイルは縦長・横長どちらでも構いません。
- ・ 無理に 1 枚のポスターにまとめていただく必要はありませんので「ファイル 5 点」までの制限を生かし発表者の説明が無くても理解していただけるような発表ファイルを作成するようお願いいたします。
- ・ LINC Biz の画面は大会期間中いつでも閲覧可能です。また、コアタイムには発表者がオンライン接続し、リアルタイムでチャットによる質疑応答を可能にする予定です。活発な議論をお願いいたします。

5. 懇親会

新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、本年度は懇親会を実施いたしません。

6. 講演要旨集販売

2019年度より講演要旨集の冊子体は製作しないこととなりました。講演要旨集は従来どおりの様式で製作したPDFを大会ホームページに掲載し参加登録者がダウンロードできる形式とします。

7. 研究発表申込、講演要旨の提出

北海道大会ホームページ (<https://www.jssspn.org/2021/>) 内の研究発表申し込み、講演要旨の提出ページのご利用には、Internet Explorer9以上、Firefox 1.0.8以上、Safari3.0.4以上のブラウザを推奨します。

締切間際には大変な混雑が予想されます。できる限り早い時期での申し込みをお願いいたします。申し込みは発表者ご自身がおこなってください。

郵送による研究発表申込ならびに講演要旨の提出は、受付いたしません。インターネット経由での申し込みができない場合は、運営準備室(株式会社 MONS TEL 011-824-8805)へご相談ください。

A. 研究発表申し込みの手順

1. 北海道大会ホームページ (<https://www.jssspn.org/2021/>) をご覧ください。
2. トップページ左側の「研究発表申込・講演要旨提出」ボタンを押してください。
3. 表示されるご案内をよくお読みになったあと、ページ下部に表示される「研究発表申込・講演要旨提出ページへ」ボタンを押してください。
4. 目次画面から「新規登録」ボタンを押してください。
5. 発表情報・講演者情報を入力します。研究発表希望部会をお選びください。講演要旨本文は和文(800文字)、英文(1,600文字)以内で作成してください。発表情報(発表部会や著者名、演題)は2021年4月23日(金)まで、要旨本文は2021年5月28日(金)まで、何度でも修正いただけます。ただし、これらの期日を過ぎては一切修正できませんので、ご注意ください。
※ 入力した内容がプログラム冊子にそのまま掲載されますので、間違いのないように入力してください。事前にワード等で原稿を作成し、申込時にペーストし、画面上で修飾文字の加工をしていただくことをお勧めいたします。
6. 全てが完了しましたら、「次へ」ボタンを押してください。申込内容の確認画面が表示されます。修正がある場合は「戻る」ボタンを押して入力画面に戻り修正し、再度「次へ」ボタンを押して、確認画面へ進み、内容を確認後、「登録する」ボタンを押してください。
7. 申込が正常に完了すると、研究発表受付番号、パスワード、メールアドレスが表示されます。登録内容の確認や修正の際に必要となりますので、この画面をプリントするか、内容をお控えください。
8. 受付確認の電子メールが届きます。24時間以内に確認メールが届かない場合は運営準備室(株式会社 MONS E-mail: convention@mons-sapporo.co.jp)までご連絡ください。

B. 研究発表申し込みおよび講演要旨における特殊な表記の方法

演題名、副題や講演要旨本文の入力の際には以下の文字装飾をご利用いただけます。

- ・ 上付き文字 (例 Ca^{2+})
- ・ 下付き文字 (例 H_2O)
- ・ 太字 (例 **Hokkaido**)
- ・ イタリック (例 *Hokkaido*)
- ・ 下線 (例 Hokkaido)

なおこれらの文字装飾は、入力欄の上にあるアイコンを使用し、一般のワープロソフトと同様の感覚でご利用いただけます。

HTMLタグ(例 $\text{Ca}\langle\sup\rangle 2+\langle/\sup\rangle$)を入力いただく必要はございません。

特殊文字についてはローマ数字、丸囲み数字、指定の記号のみご利用いただけます。本文入力欄のリストに掲載のものをコピー&ペーストしてご利用ください。

図表、写真の掲載はできません。講演要旨作成にあたり不都合のある場合は運営準備室（株式会社 MONS E-mail:convention@mons-sapporo.co.jp）までご連絡ください。

C. 研究発表申し込みおよび講演要旨の修正方法

申し込みいただいた発表情報（発表部会や著者名、演題）は2021年4月23日（金）まで、講演要旨本文は5月29日（金）の締め切りまでの間、何度でも修正できます。ただし、これらの締め切りを過ぎると修正できませんのでご注意ください。修正する際には登録時に発行された研究発表受付番号、パスワードが必要になります。

1. 北海道大会ホームページ (<https://www.jssspn.org/2021/>) をご覧ください。
2. トップページ左側の「研究発表申込・講演要旨送付」ボタンを押してください。
3. ページ下部に表示される「研究発表申込・講演要旨提出ページへ」ボタンを押してください。
4. 目次画面から「修正と確認」ボタンを押し、次の画面で研究発表受付番号とパスワードを入力し、「次へ」ボタンを押してください。
5. 現時点での登録内容が表示されますので、内容を修正する場合は画面下にある「次へ」ボタンを押してください。
6. 内容を修正できる画面になりますので、修正箇所を修正し、画面下にある「修正」ボタンを押してください。
7. 内容の確認画面が表示されますので、内容に問題がなければ画面下にある「修正登録」ボタンを押してください。
8. 修正が正常に完了すると、研究発表受付番号、パスワード、メールアドレスが表示されます。今後の登録内容の確認や修正の際に必要となりますのでこの画面をプリントするか、内容をお控えください。
9. 受付確認の電子メールが届きます。24時間以内に確認メールが届かない場合は運営準備室（株式会社 MONS E-mail:convention@mons-sapporo.co.jp）までご連絡ください。

D. 講演番号、発表部会ならびに発表日時の通知について

講演番号、発表部会ならびに発表日時については、2021年6月30日（水）までに電子メールにて発表申込者にお知らせする予定です。

8. 発表優秀賞について

2021年度日本土壌肥料学会北海道大会では、若手研究者による研究活動の奨励を目的として、若手口頭発表優秀賞を創設いたします。また、ポスター発表優秀賞の選考対象を、本大会では若手研究者による発表へ変更いたします。皆様の積極的なエントリーを心よりお待ちしております。

応募資格： 次の①～③を全て満たす方。

- ① 発表をおこなう方で、本賞選考へのエントリーを研究発表申込時にされた方。
- ② 2022年3月31日（木）時点で満35歳以下の方。
- ③ 筆頭著者の方。

エントリー：

研究発表申込時に「エントリーする」をお選びください。その際、生年月日を入力してください。

表彰：

表彰対象は研究グループとします。受賞者には大会委員長名で表彰状を授与します。

受賞者の発表は大会最終日におこなう予定です。また受賞者名ならびに発表タイトルは、日本土壌肥料学雑誌、学会ウェブサイト、大会ウェブサイト等で公表する予定です。

9. 支払について

大会参加登録費、研究発表費のお支払は、一括して2021年8月10日（火）までにお願います。

お支払は銀行振込、クレジットカードでの支払の2つからお選びいただけます（参加登録手続き時にご指定いただきます）。

A. 銀行振込：送金手数料は登録者をご負担ください。

B. クレジットカード：ビザカードもしくはマスターカードをご利用いただけます。

インターネットからの参加登録を完了すると「登録内容確認のメール」が届きます。送金先の口座情報はそちらに記載がございますので、銀行振込をご希望の方は、期日までに送金をお願いいたします。支払方法を「クレジットカード」にされた場合は、数日以内に運営準備室からクレジットカード決済に関するご案内のメールをお送りいたしますので、ご確認の上クレジットカード決済をおこなってください。

入金確認後、2021年8月中旬に、参加証（兼、領収証）ならびにプログラム・広告集をお送りします。

なお公費・校費でのお支払については、対応いたしません。

10. キャンセル・払い戻しについて

研究発表申込をされる方

2021年4月24日（土）以降、キャンセルはできません。

研究発表申込をしない方

入金後は理由の如何を問わず、一切の返金はございません。

11. 研究会・小集会などのための会場使用申し込み

本大会の前日および会期中に研究会・小集会などのために会場が必要な場合は、研究会・小集会の名称、日時、参加予定人数、液晶プロジェクター使用の有無、責任者の氏名・所属・連絡先（電話番号・ファックス番号・電子メールアドレス）、その他必要事項を記して、2021年8月2日（月）までに大会運営委員会（E-mail：jssspn2021@agr.hokudai.ac.jp）宛にお申し込みください。なお、時間帯により会場利用料のご負担をお願いする場合がありますので、ご承知おきください。

12. 高校生による研究発表会

2009年京都大会から始まったポスター発表会で、毎年みなさまの熱心なコメントが高校生の大きな励みになっています。昨年に引き続き、コロナ対策でLINC Bizによるオンライン発表となりました。すべての発表課題には発表証明書が発行され、優秀な発表にはポスター賞が授与されます。詳細は土壤教育委員会のホームページをご覧ください。

<http://jssspn.jp/edu/>

13. エクスカーション

2021年度北海道大会では実施いたしません。

14. 保育室

お子様を同伴される参加者向けに、事前予約制で特設の保育室を設置します。利用を希望される方は、北海道大会ホームページからお申し込みください。2021年4月からの申込受付を予定しています。

なお保育料の半額程度を学会から補助するかたちの利用料を予定しております。

15. 大会運営委員会

委員長：	信濃 卓郎	（北海道大学）
事務局長：	渡部 敏裕	（北海道大学）
会計：	倉持 寛太	（北海道大学）
運営委員：	石黒 宗秀	（北海道大学）
	谷 昌幸	（帯広畜産大学）

中本 洋	(北海道立総合研究機構)
櫻井 道彦	(北海道立総合研究機構)
西村 誠一	(農研機構)
山根 剛	(農研機構)
杉戸 智子	(農研機構)
中村 卓司	(農研機構)
三枝 俊哉	(酪農学園大学)
澤本 卓治	(酪農学園大学)
波多野隆介	(北海道大学)
丸山 隼人	(北海道大学)
柏木 淳一	(北海道大学)

運営委員会事務局：

日本土壌肥料学会 2021 年度北海道大会 運営委員会事務局
北海道大学大学院 農学研究院 植物栄養学研究室内
〒060-8589 北海道札幌市北区北 9 条西 9 丁目
E-mail : jssspn2021@agr.hokudai.ac.jp (研究会・小集会、その他問い合わせ)

16. 問い合わせ先

日本土壌肥料学会 2021 年度北海道大会 運営準備室 (株式会社MONS)
〒003-0002 札幌市白石区東札幌2条5丁目7-1 Maison25 203号
Tel: 011-824-8805 Fax: 011-826-4556
E-mail: convention@mons-sapporo.co.jp

17. 会場へのアクセス

北海道大学 高等教育推進機構 〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目

札幌駅からのルート： 北海道大学正門から会場まで徒歩20分程度かかります。

地下鉄北12条駅からのルート： 北13条門から会場まで徒歩15分程度かかります。

地下鉄北18条駅からのルート： 駅から会場まで徒歩8分程度かかります。



日本土壌肥料学会 2021 年度北海道大会 記念誌
『北海道農業と土壌肥料 2021—持続可能な北海道農業を支える土壌肥料研究—』

●土壌肥料研究の歩みと、北海道農業への貢献を一冊に総括

日本土壌肥料学会北海道支部会は、公益財団法人北農会の協力の下、同会の発行する「北農研究シリーズ」として、これまで計4回「北海道農業と土壌肥料」を編集してきた。最初は1969年北海道開道100年の記念として北海道農業における土壌肥料分野の研究総括し、以後、北海道で日本土壌肥料学会本大会が開催された1987年、1999年、2010年にそれぞれの時代背景をふまえてとりまとめられた書籍である。この流れを継承し、札幌で開催される日本土壌肥料学会2021年度北海道大会を記念して、「北海道農業と土壌肥料2021」を編集・発行する。

前回の「北海道農業と土壌肥料2010」は、国内土壌肥料研究者や技術者のみならず、学生や一般を対象とする「北海道農業における土壌肥料分野の教科書」を目指し、北海道の自然、農地の管理、環境保全対策を体系的に網羅し解説した書籍であった。今回の「北海道農業と土壌肥料2021」は、その後10年間における土壌肥料研究の進捗を総括する。前号より専門的内容に特化するので、読者の対象は国内土壌肥料研究者および農業改良普及員や技術者を中心に想定する。

近年、毎年のように繰り返される気象災害は、気候変動の象徴として、大量生産・大量消費を伴う地球規模の新自由主義に警鐘を鳴らしている。持続可能性の概念は1990年代にすでに提起されたものであるが、その重要性が国際社会に危機感をもって認識され、2015年の国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)につながっている。本書にまとめられる直近10年間の研究成果は、わが国の社会情勢ばかりでなく、この間の世界情勢にも敏感に反応しており、これが本書の副題の所以である。

●キーワードは持続可能性、気候変動、少子高齢化・大規模化、生産物の品質評価

本書の各章の概要は以下のとおりである。

第1章 持続可能性への課題：ここでは、この10年間精力の注がれた研究課題の背景を整理する。北海道における食料生産の将来にわたる持続可能性を確保するために、近年の気候変動や農家戸数の減少といった農業をとりまく自然・経済情勢の変化に対応すること、環境保全や安全性などの生産過程に付加価値を見いだすことの重要性が指摘される。

第2章 気候変動に対応した農業技術：自然環境への対応技術が紹介される。短期的には止められない気候変動に適応するための農業技術と、その気候変動を緩和するための農業技術の進捗状況と今後の展望が語られる。

第3章 少子高齢化・大規模化に向けた軽労化技術：社会情勢への対応技術が紹介される。人が減っても粗放化に陥ることなく、収量・品質を維持し、高度な土地利用を実現するため、ICTを活用したモニタリング技術、施肥・栽培作業の省力化技術について紹介される。

第4章 持続可能性を高める農地管理技術：透排水性等の生産基盤管理技術、各作物の安定生産にむけた肥培管理技術、有機物の効率的利用による省資源や病害・環境保全に注目した農地管理対策が詳述される。

第5章 生産物の品質評価、貯蔵・流通技術：この10年間で特徴的に進捗した分野として、生産された収穫物の品質を評価する技術、さらにそれらを貯蔵し流通される技術について解説される。

本書にまとめられる新しい技術情報は、北海道における個々の経営体の持続性を高めるだけでなく、地球環境の保全や持続可能な開発目標の達成を目指すものと自負する。これらの情報が、生産現場における実践技術として普及するとともに、今後のさらなる研究の端緒となることを期待する。

●予約販売：大会登録時に同時予約が可能。予約価格：2,000円(送料・税込)(当日価格：2,000円(税込))。

気鋭の研究者総勢35名が執筆。上記の濃密な内容の全5章で、B5版、約200ページ。事前予約価格は送料分がお得です。予約購入は大会の参加・講演登録時にでき、お手元に郵送されます。